

見て〇〇感じて♡食べてみよう!! ~ 公平で平等な社会を願って 株式会社 ジャスティス・ジヤパン

今回は、給食で使用する冷凍カットトマトを



洗う → 皮をむく → カットする → 計量し袋に封をする

製造されている(株)ジャスティス・ジヤパンさんを取材しました。ここでは、障がいや難病のある方が福祉サービスを受けながら、働いておられます。



一つ一つの作業を丁寧に、トマトを大切に扱いながら作業をしてもらいました。給食センターの調理員さんからも品質が良いと評判です。

A型支援 “きのこハウス”について

冷凍カット トマトはこれ!!

- ① 工業連携: 段ボールの組み立てや、野菜の加工など
- ② 農福連携: トマトや柿の栽培  
火田のまわりの草刈りなど
- ③ 地域連携: しめ縄や布ぞうりづくりなど

草刈りの 免許をとる こともできます

もともとは 心理士さん 被害者や 加害者の 支援に 関わっていた そうです



山口育美社長

Q1. どんなときにやりがいを感じますか?

「できない」と思っていたことが「できる」ようになったときの利用者さんの喜びが、自分のことのように嬉しいです。自信がくと自分や周りの人を大切にすることができます。そうすると、安心して仕事ができる環境が整い、社会や地域と共に生きる人が育ちます。

Q2. 子どもたちにメッセージをお願いします!!

今、ムダだと思っていることでも、いつか必ず役に立つときがきます。私が子どもの頃、祖母に言われたのが「お金は人に取られても、知識は人が取っていくことのできない自分だけのもの」ということです。失敗をおそれずに、挑戦し、経験値を上げて下さいね!

“ジャスティス”は英語で「正義」、フランス語で「公平」「平等」という意味だそうです。山口さんは、フランス語の意味が好きだとおっしゃっていました。